

いい夫婦の日「11月22日」を前に

40代～50代の『夫婦の意識調査』

～ 会話不足は熟年離婚のシグナル～

- ・妻の4人に3人が「リタイヤ後、夫でいる時間が増えることはうれしくない」
- ・夫婦2人の1日の平均会話時間「30分以下」は離婚を考えている人多数

生命保険・金融プロフェッショナルの組織、MDRT 日本会は来年度から始まる「年金分割制度」によって懸念される熟年離婚問題を前に、全国の40代～50代の既婚男女を対象とした『夫婦の意識調査』を10月25日～26日に実施しました。

MDRT 日本会では、アンケート調査をすることで、夫婦間の意識の違いや夫婦間に潜むリスクを浮き彫りにし、「いい夫婦の日(11月22日)」を前に、夫婦で話し合っただくとともに、私達、生命保険・金融サービスのプロをお客様それぞれに合致したライフプランニングの手助けとして役立てていただこうと考えております。

心理学者である駒沢女子大学教授の富田たかし氏に同調査結果を分析していただいたところ、「シビアで現実的な妻」、「賢母幻想にすぎる夫」と、夫婦の意識の違いを表現し、「将来設計について話し合うことは、コミュニケーションをはかる上で絶好のきっかけ」(巻末総評に全文掲載)と評されました。

つまり、将来設計について話合う事は、夫婦間の意識の違いを埋めるための有効なコミュニケーション手段であるといえるのではないのでしょうか。

MDRT 日本会アンケート「夫婦の意識調査」の結果概要・調査結果は以下のとおりです。

『夫婦の意識調査』の主な結果

< 夫婦の意識調査 >

夫婦二人の1日の会話時間は平均で66.3分 「30分以下」は離婚の可能性大

自分は良き夫・妻であると思う男性32.2%・女性30.2%

夫・妻に先立たれたとして、その後の人生の楽しみをみつけられる男性45.3%・女性65.1%

夫婦は同じ墓に入るべき男性49.6%・女性34.9%

「リタイヤ後、夫婦でいる時間が増えることはうれしい」男性48.4%・女性27.1%

「年金分割制度」を知っている男性52.7%・女性70.5%

真剣に、夫・妻との離婚を考えたことがある、男性31.8%・女性42.2%

退職後、資産運用の見直しに必要性を感じている男性74.8%・女性74.0%

一方で、実際に話し合っているのは男性40.3%・女性41.9%

「夫婦で将来設計について話しあっている」男性43.8%・女性43.4%

今後の「夫婦生活で不安な事」、1位「自分の健康」、2位「夫・妻の健康」、3位「子どもの将来」

有名人で理想の夫1位は所ジョージさん、妻1位は黒木瞳さん

【調査概要】

調査対象 / 全国の40代と50代の既婚男女 計516名
性別(男・女)と年代別(40代・50代)に4区分 各129名
調査方法 / インターネットによるオンライン調査
調査期間 / 2006年10月25日～26日

*「離婚時の年金制度」とは

夫婦が合意すれば結婚期間中に納めた分の夫(妻)の厚生年金や共済年金を、最大2分の1まで相手に分割できるようになる制度で2007年4月1日から施行されます。

MDRTとは

Million Dollar Round Table (MDRT)とは、世界76カ国、約35,000名(2006年5月現在)の会員を有する、卓越した生命保険と金融サービスの専門家による国際的かつ独立した生命保険と金融サービスの専門家による国際的かつ独立した組織です。世界中の生命保険・金融サービス専門職の毎年トップクラスのメンバーで構成され、そのメンバーは相互研鑽と社会貢献を活動の柱としホール・パーソン(バランスのとれた人格を志向すること)を目指し、努力しています。またMDRT会員は、卓越した知識をもち、厳しい倫理基準を満たし、優れた顧客サービスを提供しています。ビジネスと地域社会のリーダーとして、生命保険と金融サービスの専門家として世界中で認知されています。

MDRT 日本会に関するお問合せ先

MDRT 日本会 広報担当:神田全良 電話 03-5208-1531 FAX03-5208-1532
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 8階

アンケート調査に関するお問合せ先

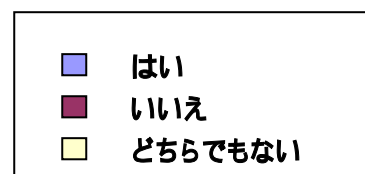
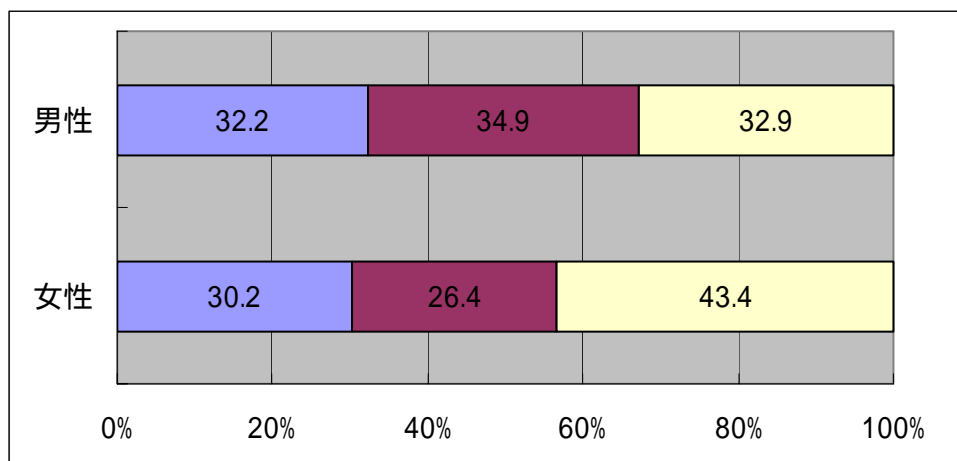
共同 PR 株式会社 担当:山本雅也、阿部重郎 電話 03-3571-5236 FAX03-3574-9364
〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22

【調査結果】

	page
1. 自分は良き夫・妻であると思う男性32.2%・女性30.2%	…4
2. 自分達はいいい夫婦と男性53.5%・女性41.1%	…6
3. 夫・妻に先立たれたとして、その後の人生の楽しみをみつけられる男性45.3%・女性65.1%	…7
4. 夫婦は同じ墓に入るべき男性49.6%・女性34.9%	…8
5. 「リタイヤ後、夫婦でいる時間が増えることはうれしい」男性48.4%・女性27.1%	…9
6. 「 <u>年金分割制度</u> 」を知っている男性52.7%、女性70.5%	…10
7. 真剣に、夫・妻との離婚を考えたことがある、男性31.8%・女性42.2%	…12
8. 夫婦二人の1日の会話時間は平均で <u>66.3分</u> 「30分以下」は離婚の可能性大	…13
9. 退職後、資産運用の見直しに必要性を感じている男性74.8%、女性74.0% 一方で、 <u>実際に話し合っているのは男性40.3%・女性41.9%</u>	…14
10. 「夫婦で将来設計について話しあっている」男性43.8%・女性43.4% 夫婦の将来設計を話していない妻は、離婚を考えている可能性大	…16
11. 今後の「夫婦生活で不安な事」、 <u>1位「自分の健康」 2位「夫・妻の健康」 3位「子どもの将来」</u>	
12. 今後取り組みたい事 男女とも1位は「旅」	…17
13. 有名人で理想の夫1位は所ジョージさん、妻1位は黒木瞳さん	…20

1. 「自分は良き夫・妻である」と思う男性32.2%・女性30.2%

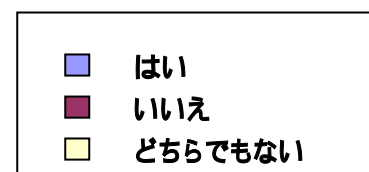
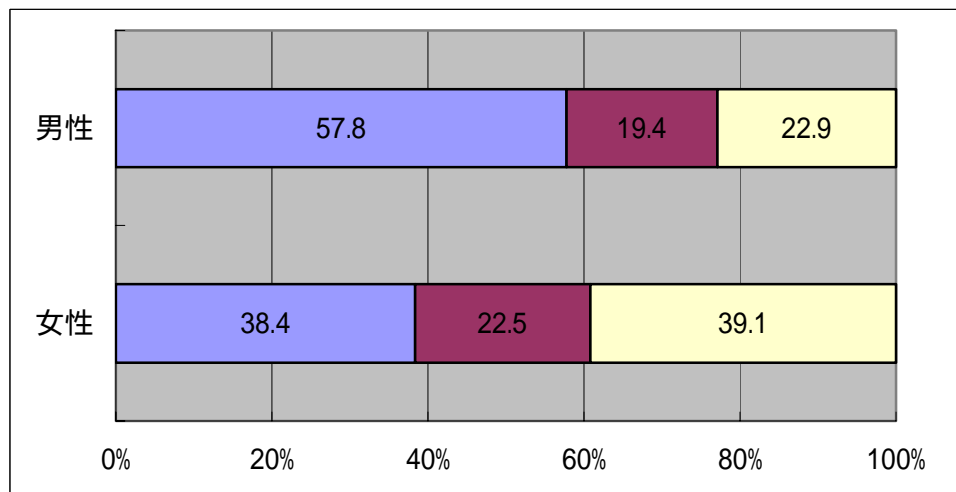
「自分は良き夫・妻であると思いますか？」という設問に対し、「自分は良き夫だと思う」と答えた男性32.2%、「自分は良き妻だと思う」と答えた女性が30.2%という結果になりました。



【参考分析】～「相手は良き妻・夫だと思う」男性57.8%・女性38.4%～

上の設問とは逆に「相手は良き夫・妻であると思いますか？」という設問では、「相手は良き妻・夫だと思う」と答えたのが男性57.8%、女性38.4%と男女とも「自己評価」よりも大きい割合で「良き妻・夫であると思う」と回答しています。

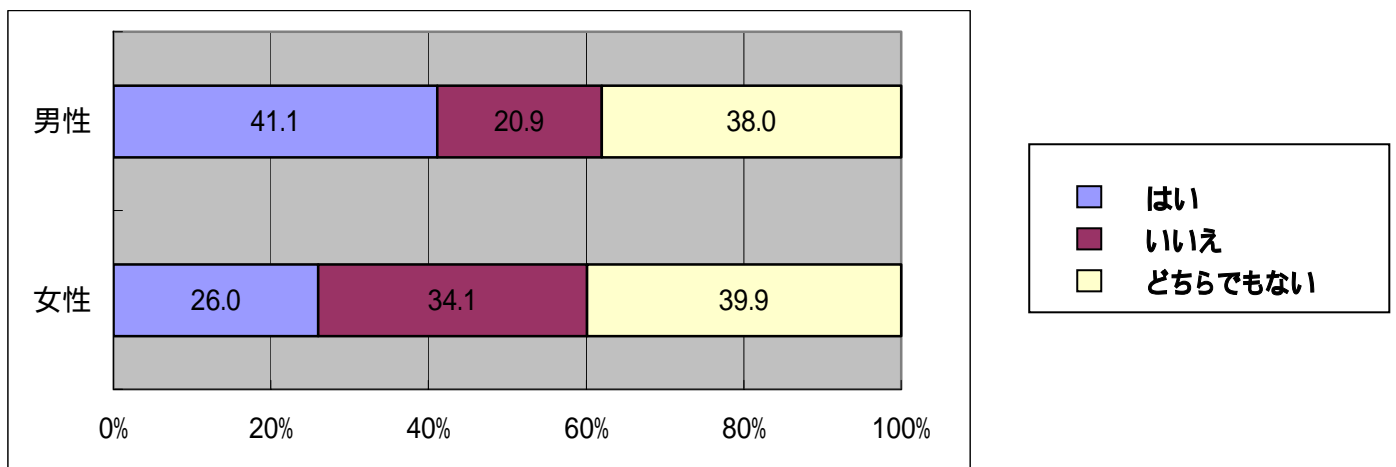
特に男性は「自分は良き妻だと思う」と答えた女性(30.2%)に比べると、倍近い割合で「相手は良き妻である」と答えています。



【参考分析】

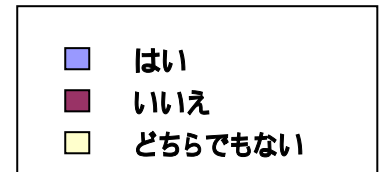
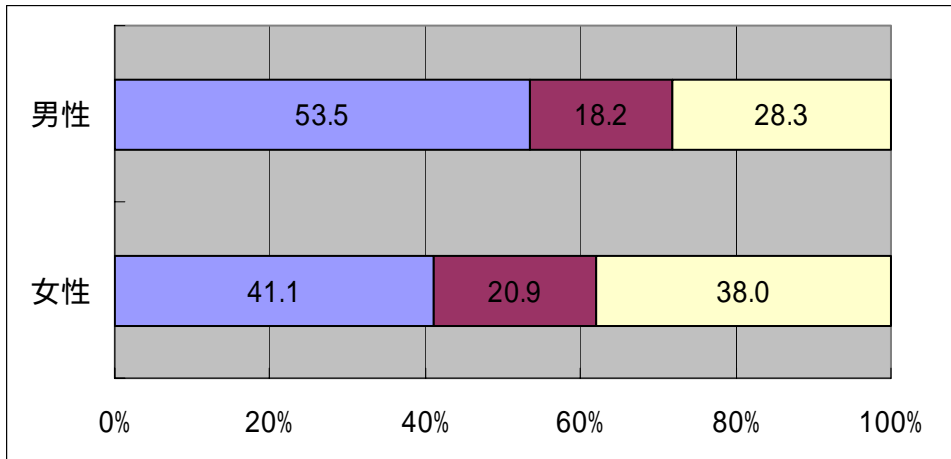
～「生まれ変わっても、今の妻と結婚したい」男性41.1%、「今の夫と結婚したい」女性26.0%～

「生まれ変わっても、現在の夫・妻と結婚したいですか」という設問では、「今の妻と結婚したい」と答えた男性が41.1%、「今の夫と結婚したい」と答えた女性が26.0%いました。逆に「現在の妻・夫と結婚したくない」と答えたのは男性で20.9%、女性で34.1%となりました。



2. 「自分達はいいい夫婦」男性過半数・女性約4割

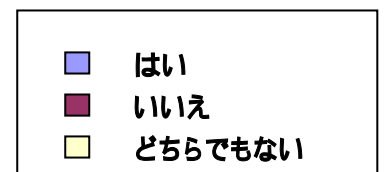
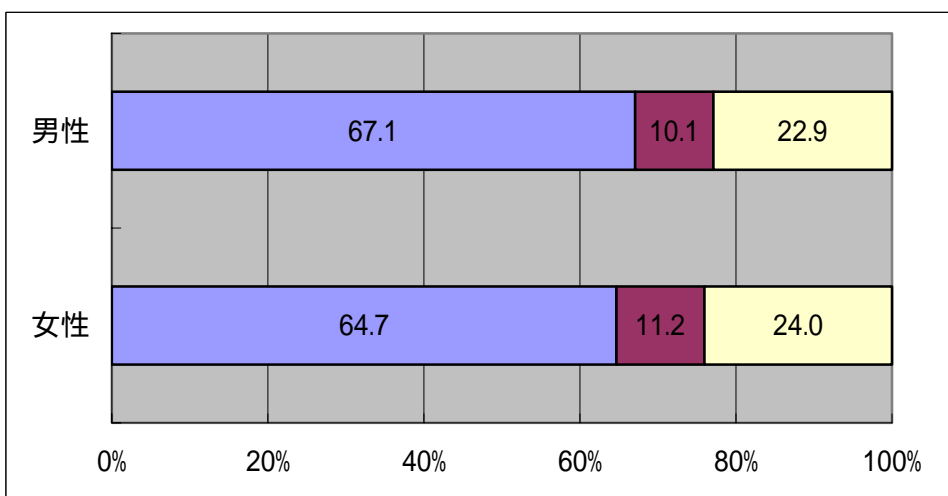
「自分達はいいい夫婦だと思いますか?」という問いに対し、男性の過半数(53.5%)、女性の約4割(41.1%)が「いい夫婦だと思う」と答え、「いい夫婦ではない」と答えた男女(男性18.2%・女性20.9%)を大幅に上回りました。



【参考分析】

～他の人からみて、自分達は「いい夫婦に見えると思う」男女とも7割近く～

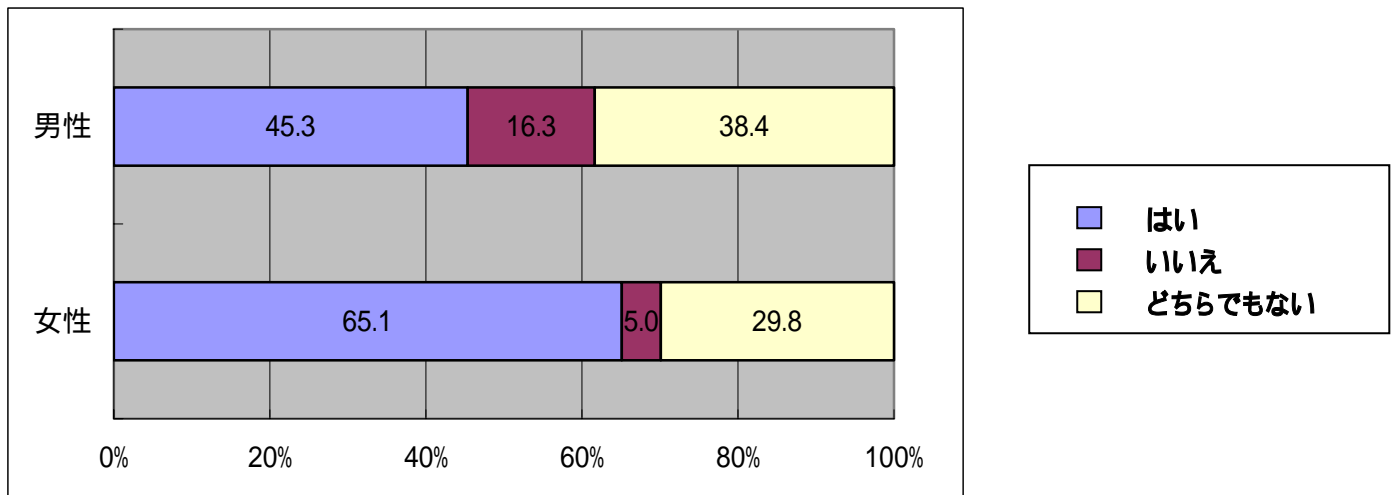
「他の人から見て、自分達は、いい夫婦に見えると思うか?」どうかという設問に対し、男女とも7割に近い人(男性67.1%・女性64.7%)が「自分達は外から見ていい夫婦に見えると思う」と答えました。上記の設問「自分達はいいい夫婦かどうか」の回答と比較すると、男女とも他の人からみた方が、いい夫婦に見えると答える傾向にあります。



3. 「夫・妻に先立たれたとして、その後の人生の楽しみをみつけられる」

男性45.3%・女性65.1%

「夫・妻に先立たれたとして、その後の人生の楽しみを見つけれられますか？」という設問に対して、「見つけられる」と答えた男性45.3%、女性65.1%と女性の方が、人生の楽しみを他に持っているという結果になりました。



【クロス分析】相手に先立たれても、自分に残して欲しいもののランキング

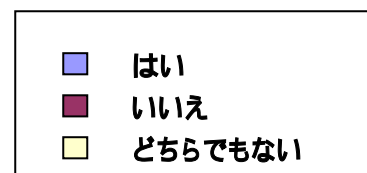
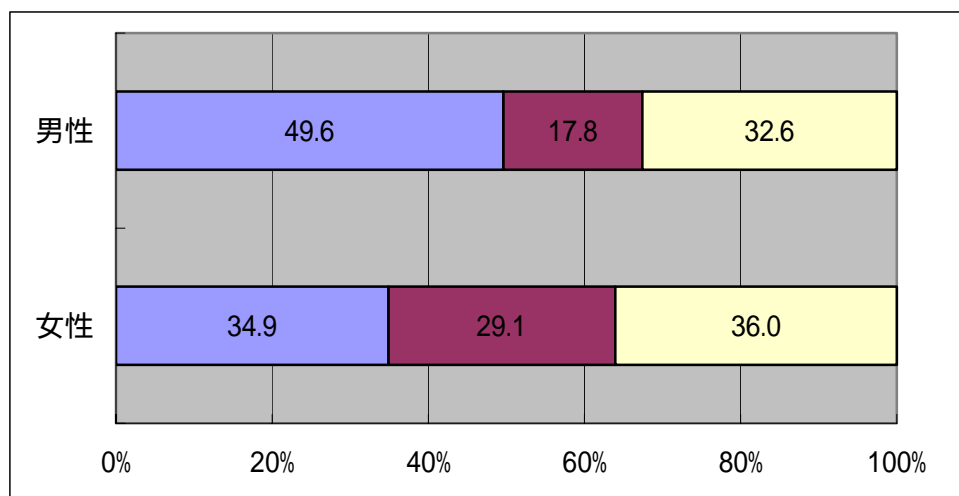
上の「夫・妻に先立たれたとして、その後の人生の楽しみをみつけられるか」という設問で「楽しみを見つけれられる」及び、「見つけられない」と答えた男女に「相手に先立たれても自分に残して欲しいもの」を7つ（「その他」も含む）の中から、当てはまるもの全てを選択させて、集計しました。

女性は夫が先立った後の楽しみを「見つけられる」、「みつけられない」の両回答者とも「お金」、「家」、「子ども」をそれぞれ1位、2位、3位にあげました。また、「楽しみを見つけれられる」男性は妻に「お金」を残して欲しいと答えた人が3割（33.3%）、「楽しみを見つけれられない」男性は「お金」（28.6%）に加え、「子ども」「美しい思い出」を残して欲しいと答えた人が各3割前後ずついるのが特徴です。

順位	楽しみを見つけれられる男性		楽しみを見つけれられない男性		楽しみを見つけれられる女性		楽しみを見つけれられない女性	
	残して欲しいもの	選択率	残して欲しいもの	選択率	残して欲しいもの	選択率	残して欲しいもの	選択率
1	特にない	35.0%	子ども	35.0%	お金	85.1%	お金	76.9%
2	お金	33.3%	美しい思い出	31.0%	家	48.2%	家	46.2%
3	美しい思い出	30.8%	お金	28.6%	子ども	29.8%	子ども	30.8%
4	子ども	20.5%	特にない	28.6%	美しい思い出	24.4%	美しい思い出	30.8%
5	家	13.7%	家	14.3%	特にない	9.5%	特にない	7.7%
6	料理の味付け	4.3%	料理の味付け	4.8%	その他	1.8%	その他	0.0%
7	その他	3.4%	その他	0.0%	料理の味付け	0.0%	料理の味付け	0.0%

4. 「夫婦は同じ墓に入るべき」男性49.6%・女性34.9%

「夫婦は同じ墓に入るべきだと思いますか？」という設問に対し、「同じ墓に入るべき」と答えた男性が約半数(49.6%)、女性が34.9%で男性の方が「同じ墓」思考が高い傾向にあるという結果になりました。

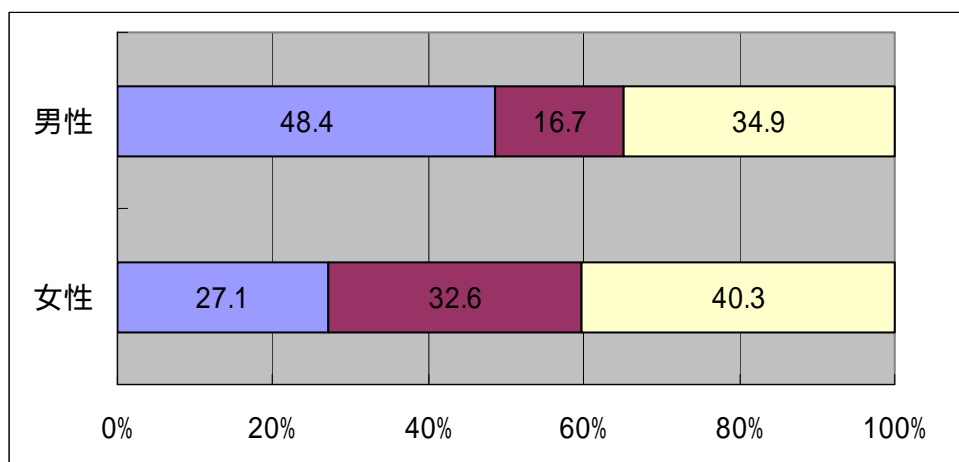


5.リタイヤ後、夫婦でいる時間が増えることはうれしい

男性48.4%・女性27.1%

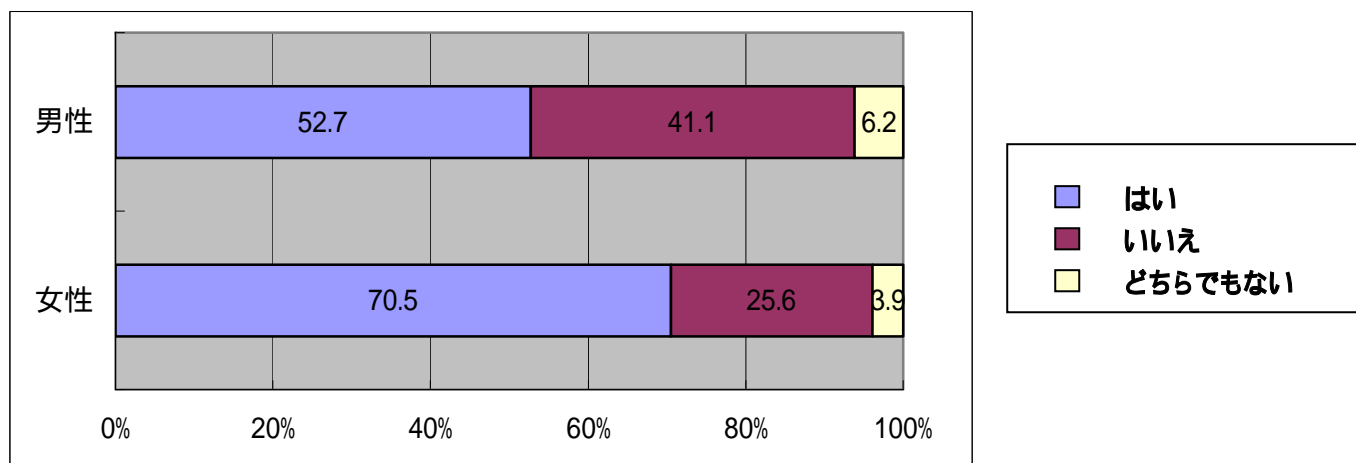
「リタイヤ後、夫婦でいる時間が増えることは、うれしいこと」かどうか伺ったところ、男性の半数近く(48.4%)、女性の27.1%が「うれしい」と答え、逆に男性16.7%・女性32.6%が「うれしくない」という回答しました。

男性の場合、「うれしくない」と答えた人に比べ、「うれしい」と答えた人の割合は約3倍にのぼるが、女性の場合は、「うれしくない」と答えた人の割合の方が高い結果になりました。



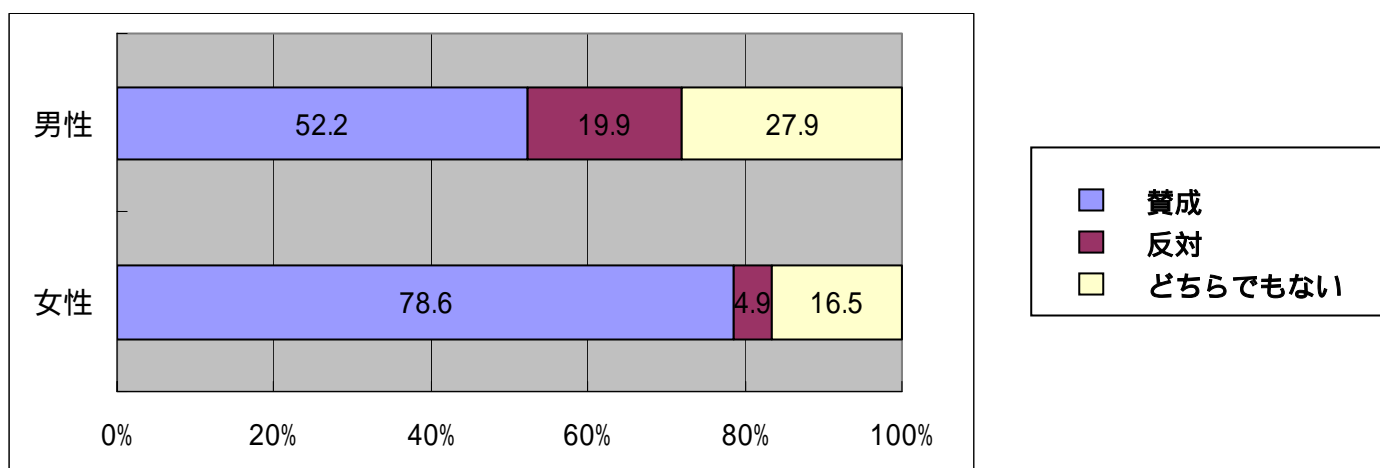
6. 「年金分割制度」を知っている男性52.7%、女性70.5%

「来年から始まる年金分割制度はご存知ですか?」という設問について、男性の約半数(52.7%)・女性の約7割(70.5%)が「知っている」と答えました。男性に比べ、女性の認知度が高いのは、新しい年金分割制度の内容(最大50%ずつに分割)が原因であると言えます。



【クロス分析】～男性約半数女性約8割が離婚時の年金分割制度に賛成～

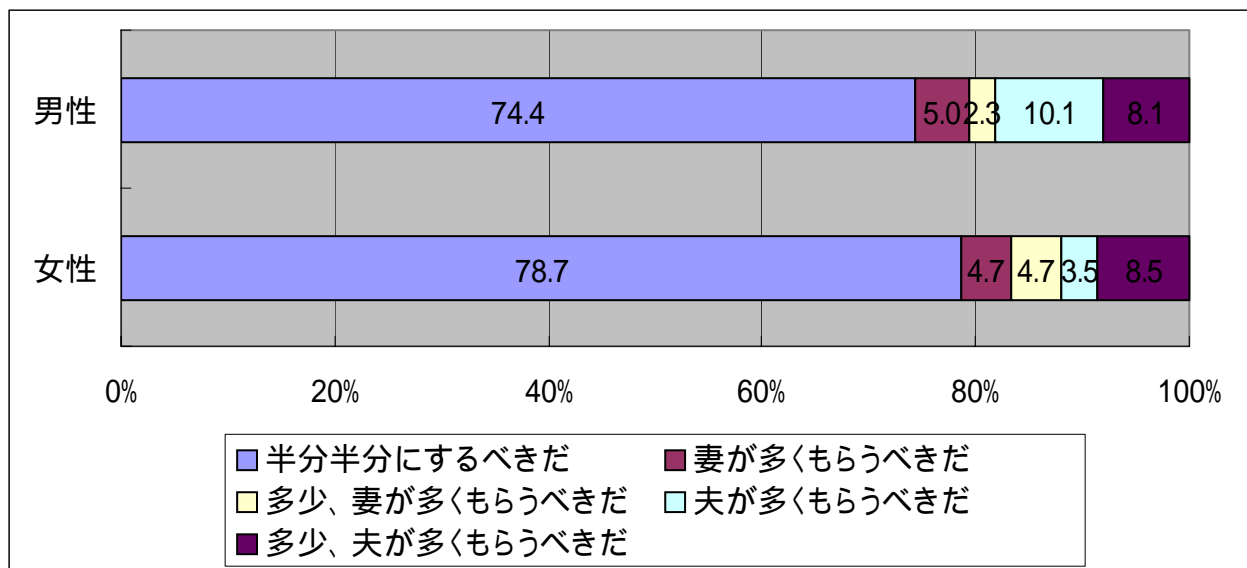
「年金分割制度」を知っている人(男性52.7%、女性70.5%)で、同制度に賛成か反対かというどうか問題に回答してもらったところ、男性の約半数(52.2%)・女性の約8割(78.6%)が賛成と答えました。



【参考分析】 ～男女とも約8割近くが「離婚時の年金を半分半分にすべき」～

「離婚するとしたら、年金の取り分は夫婦でどうすべきだと思いますか？」という設問に全男女に回答してもらったところ、男性74.4%・女性78.7%が半分半分にすべきだと答えました。

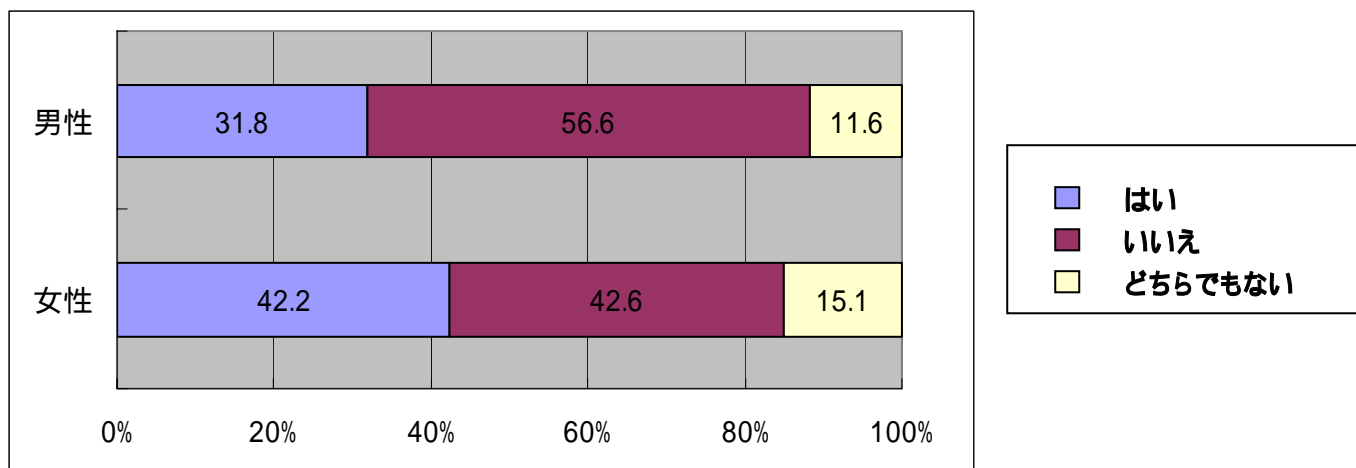
(年金制度を知らない人も含めた、全員を対象としています)



7. 真剣に、夫・妻との離婚を考えたことがある、

男性31.8%・女性42.2%

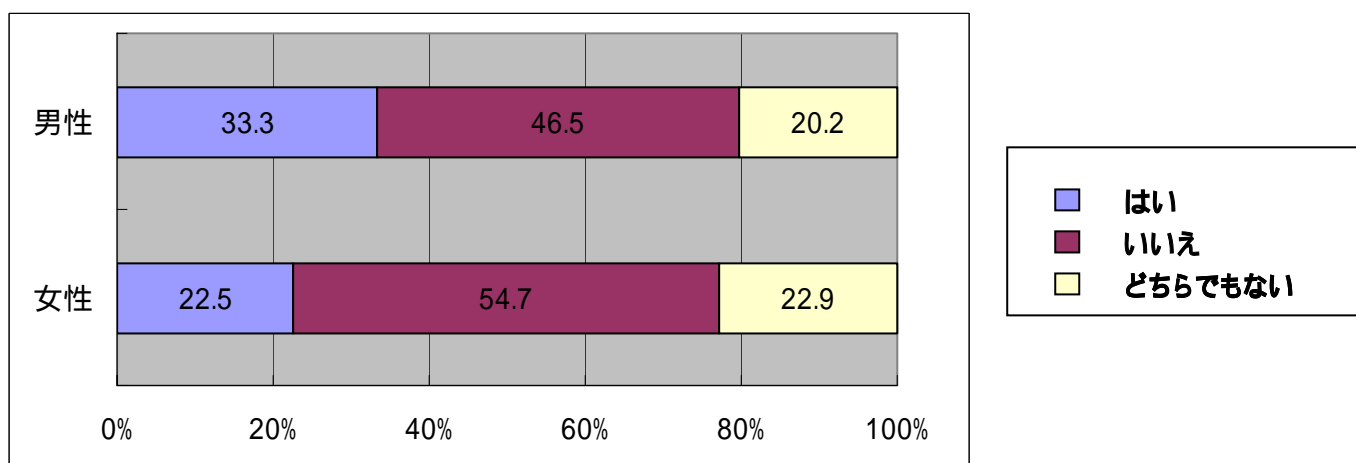
「真剣に、夫・妻との離婚を考えたことがありますか？」という設問を伺いました。男性の3割以上(31.8%)、女性の4割以上(42.2%)が「考えたことがある」と答えました。



【参考分析】～「相手(夫・妻)は、真剣に離婚を考えたことがある」男性33.3%・女性22.5%～

「相手(夫・妻)は、真剣に離婚を考えたことがあると思いますか？」と伺ったところ、「相手が離婚を考えたことがあるだろう」と答えたのは、男性33.3%・女性22.5%にとどまりました。

上記の設問の、女性の「離婚を考えたことがある」(42.2%)に比べ、「妻は離婚を真剣に考えたことがあると思う」と答えた男性は33.3%、また、男性の「離婚を考えたことがある」(31.8%)に比べ、「夫は離婚を真剣に考えたことがあると思う」と答えた女性は22.5%と、互いに10%前後の開きがあり、男女とも実際よりも離婚に関して若干楽観視しているともとることができます。



8. 夫婦二人の1日の合計会話時間は平均で66.3分

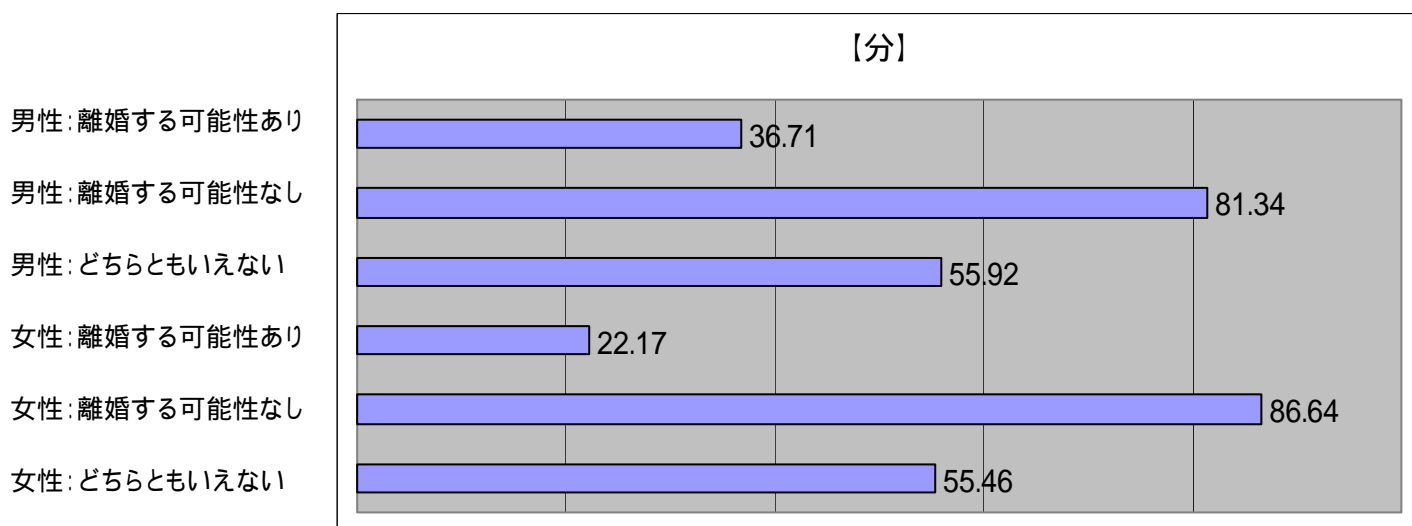
「30分以下」は離婚の可能性大

「夫婦ふたりの1日の合計時間の長さは平均どれくらいですか？」という設問に対し、男女とも平均66.3分、1日に会話しているという結果になりました。

【クロス分析】 ~ 会話時間が「30分以下」は離婚の可能性大 ~

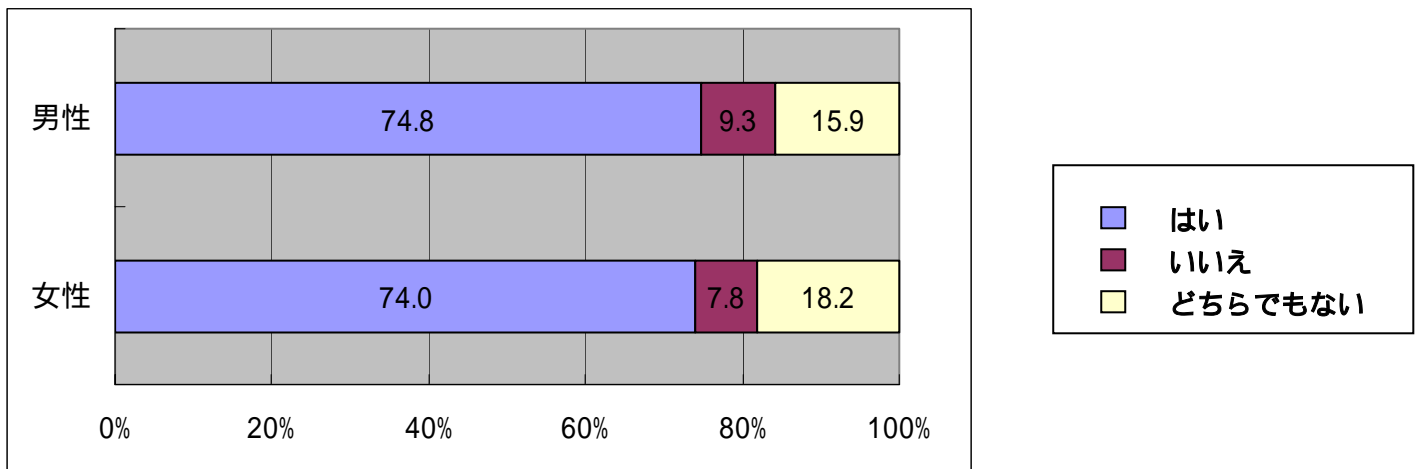
「今後、離婚する可能性はありますか？」という設問で、「可能性ある」と答えた人の1日の平均会話時間は、男性で36.7分、女性で22.2分でした(男女合わせた全体の平均は「可能性ある」29.44分)。

また、同設問で「どちらともいえない」と答えた人について、男性で55.9分、女性で55.5分という1日の平均会話時間の結果になりました。



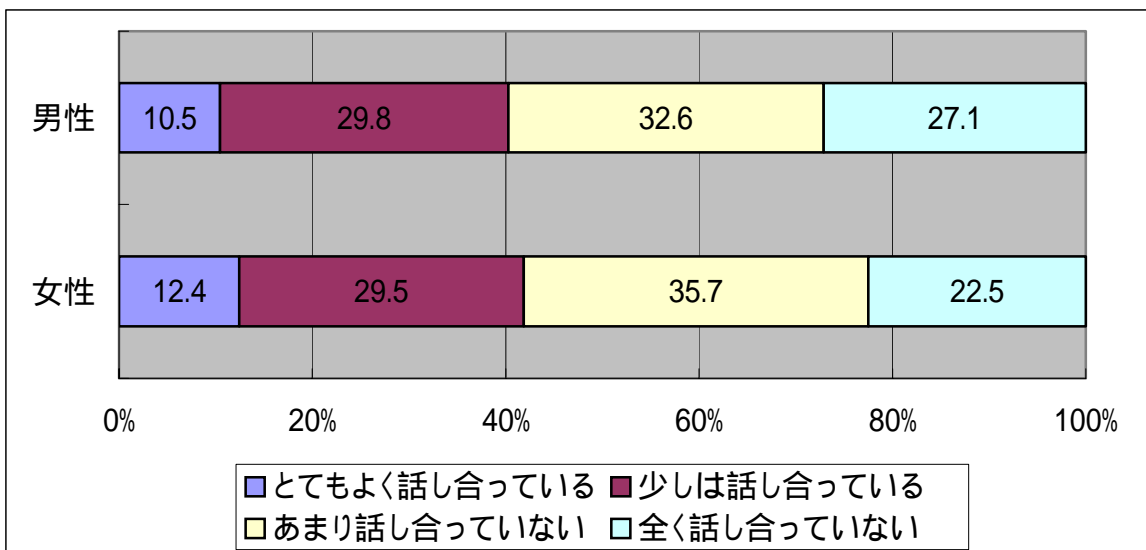
**9. 男女とも7割以上(男性74.8%・女性74.0%)が
リタイヤ後、資産運用の見直しに必要性を感じているが、
実際に話し合っているのは、男性40.3%・女性41.9%**

リタイヤ後の、資産運用の見直しは必要かどうかうかがったところ、「見直しが必要」と答えた男女は
実に7割を越えました。(男性74.8%・女性74.0%)



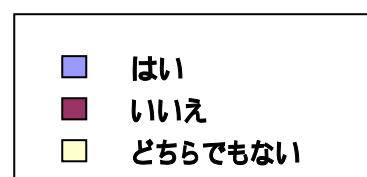
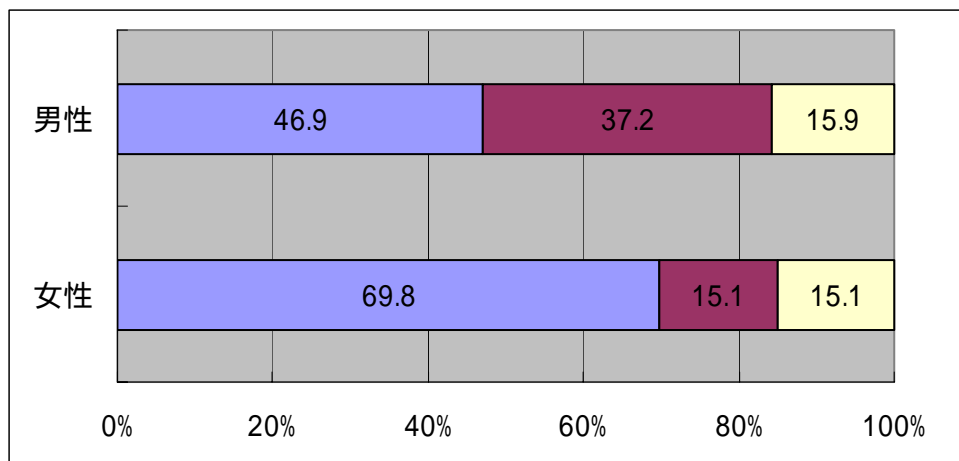
【参考分析】～老後のライフプランについて、過半数が「夫婦で話しあっていない」～

「老後のライフプランについて、夫婦で話し合っているか」という調査で、「あまり話し合っていない」と
答えた人と「全く話し合っていない」と答えた人の和は、男性59.7%・女性58.2%におよびました。



【参考分析】～家計のバランスシート(収支)は把握している男性約半数・女性約7割～

「家計のバランスシートは把握していますか」という設問に対し、男性の約半数(46.9%)、女性の約7割(69.8%)が「把握している」と回答しました。

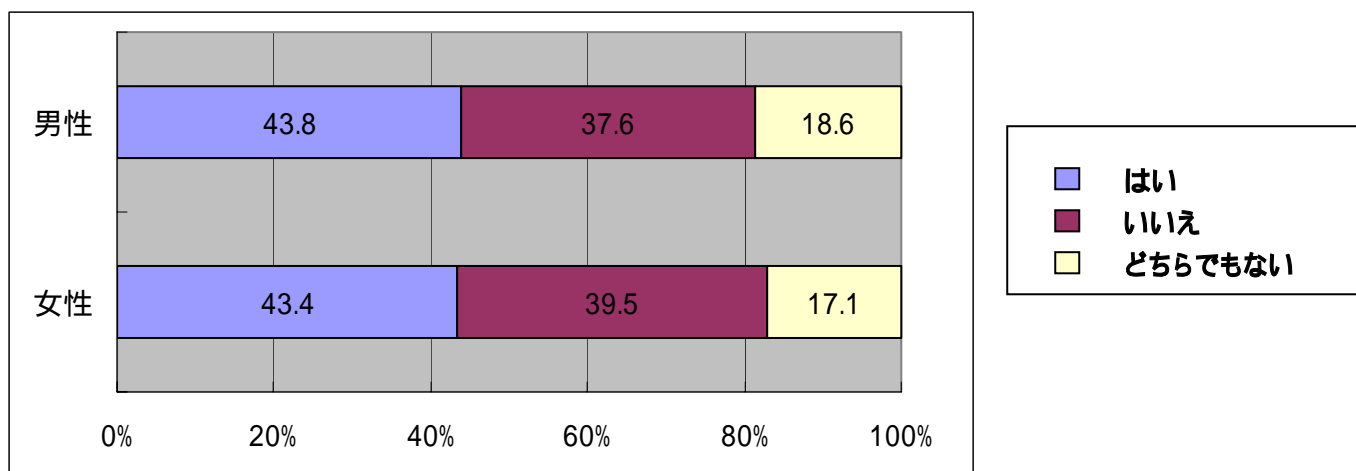


10. 「夫婦で将来設計について話しあっている」

男性43.8%・女性43.4%

夫婦の将来設計を話していない妻は、離婚を考えている可能性大

「夫婦で将来設計について話し合っていますか？」という設問に対し、男女とも4割以上が「話しあっている」(男性43.8%・女性43.4%)と答え、「話し合っていない」と答えた人の割合よりも高い結果がでました。



【クロス分析】 上記の「夫婦で将来設計について話しあっているか」という設問で「話し合っている」

と答えた男女と「話し合っていない」と答えた男女を調査対象とし、「今後、離婚する可能性はあるか」聞いてみました。

夫婦で将来設計について「話し合っていない」と答えた男女で「今後、離婚する可能性がある」と答えた人の割合は全体平均の16.3%に対し、男性21.6%、女性28.4%とやや高い比率になりました。特に女性は「将来設計について話し合っている女性」(5.4%)と比較すると5~6倍もの差があります。

【夫婦で将来設計について話し合っていますか？】		【今後、離婚する可能性はあると思いますか？】(%)		
		はい	いいえ	どちらともいえない
全体		16.3	52.7	31.0
全体	はい	9.3	66.7	24.0
	いいえ	25.1	37.7	37.2
全体		16.3	53.1	30.6
男性	はい	13.3	66.4	20.4
	いいえ	21.6	40.2	38.1
全体		16.3	52.3	31.4
女性	はい	5.4	67.0	27.7
	いいえ	28.4	35.3	36.3

11. 「今後の夫婦生活で不安な事」は、

1位「自分の健康」 2位「夫・妻の健康」 3位「子どもの将来」

「今後の夫婦生活で不安な事は何ですか？」という設問に、下の10個の選択肢の中であてはまるものを全てを選んでもらったところ、選択率の高い順から、男女とも1位「自分の健康」、2位「夫・妻の健康」、3位「子どもの将来」、4位「生活費」と、1位～4位まで全く同じ結果になりました。

選択率については、「自分の健康」、「夫の健康」、「生活費」は女性の方が高く、「子どもの将来」に関しては、男性の方がわずかに不安に思う傾向が高いといえます。

順位	男性		女性	
	不安な事	比率	不安な事	比率
1	自分の健康	58.5%	自分の健康	65.1%
2	妻の健康	53.5%	夫の健康	64.0%
3	子どもの将来	51.6%	子どもの将来	44.6%
4	生活費	44.2%	生活費	48.8%
5	大地震	14.0%	大地震	27.1%
6	交通事故	12.8%	交通事故	20.5%
7	離婚	9.7%	火事	13.2%
8	火事	9.4%	その他	8.5%
9	特になし	8.5%	離婚	7.4%
10	その他	2.3%	特になし	6.6%

12. 「趣味など今後取り組みたい事」 1位は男女とも「旅」

「今後、取り組みたい趣味や行ないたいことはありますか?」という設問で、自由に答えていただいたところ(複数可)、男女とも「旅」と答えた人の割合がトップになり、2位の「趣味」、3位の「スポーツ・レジャー」まで男女とも同様の順位となりました。

ランキング	男性	人数	比率	女性	人数	比率
1	旅	122	34.7%	旅	143	31.6%
2	趣味	63	17.9%	趣味	101	22.3%
3	スポーツ・レジャー	52	14.8%	スポーツ・レジャー	45	10.0%
4	リフォーム・引越し	19	5.4%	教養	34	7.5%
5	教養	14	4.0%	リフォーム・引越し	24	5.3%
6	自営業・株取引	12	3.4%	自営業・株取引	23	5.1%
7	ボランティア活動	10	2.8%	ボランティア活動	11	2.4%
8	健康・美容	4	1.1%	健康・美容	9	2.0%
	その他	56	15.9%	その他	62	13.7%
	合計	352	100.0%		452	100

主な内訳

男性

- 1位 旅(国内外への旅行)
- 2位 趣味(楽器、パソコン、釣りなど)
- 3位 スポーツ・レジャー(ゴルフ、スポーツジム、登山)
- 4位 リフォーム・引越しなど住居に関わるものへの投資(リフォーム、引越し)
- 5位 教養(英会話、ホームヘルパーの資格など)
- 6位 資産運用・株・自営業(独立開業・飲食店経営・株取引)
- 7位 ボランティア活動
- 8位 健康・美容

女性

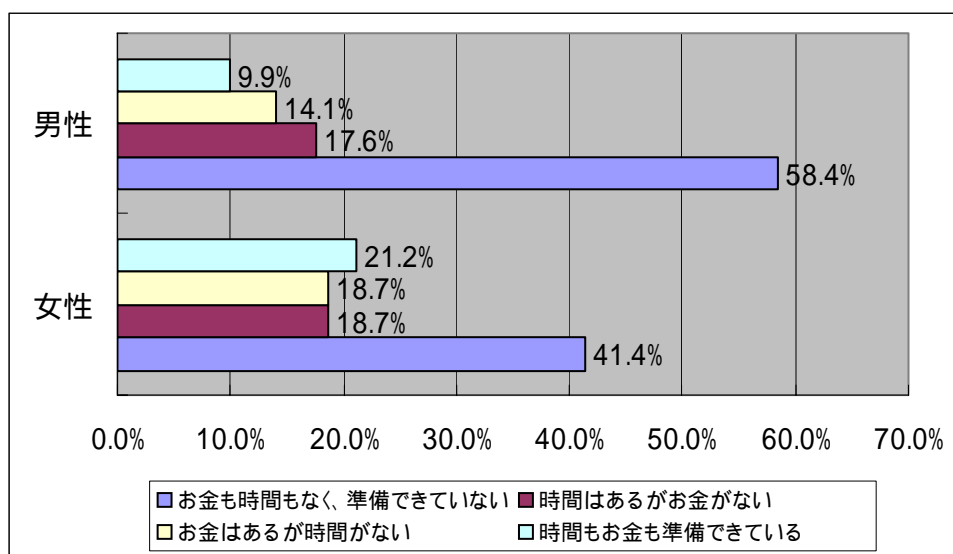
- 1位 旅(国内外への旅行)
- 2位 趣味(楽器、絵画、ガーデニングなど)
- 3位 スポーツ・レジャー(ゴルフ、スポーツジム、登山)
- 4位 教養(英会話、ホームヘルパーの資格など)
- 5位 リフォーム・引越しなど住居に関わるものへの投資(リフォーム、引越し)
- 6位 資産運用・株・自営業(独立開業・飲食店経営・株取引)
- 7位 ボランティア活動
- 8位 健康・美容

【参考分析】

～趣味や行いたいことのためのお金・時間ともに「準備できていない」男性58.4%・女性41.4%～
「趣味や行いたいことの準備はできていますか」という設問に対し、

1. 「時間もお金も準備できている」
2. 「お金はあるが時間がない」
3. 「時間はあるがお金がない」
4. 「お金も時間もなく、準備できていない」

の4つの選択肢の中から、選択する形式にしたところ、「趣味や行いたいことのためのお金・時間も
なく、準備できていない」と答えた、男性58.4%・女性41.4%と最も高い比率になりました。
また、「時間もお金も準備できている」と答えたのは男性約1割(9.9%)、女性約2割(21.2%)と若
干、女性の方が楽観視している傾向になっています。



13. 有名人で理想の夫 1 位は所ジョージさん、妻 1 位は黒木瞳さん

理想の夫婦は三浦友和さんと山口百恵さん夫妻

ランキング	男性	女性
1	黒木瞳	所ジョージ
2	吉永小百合	渡哲也
3	山口百恵	中村雅俊
4	竹下景子	明石家さんま
5	仲間由紀恵	三浦友和

【主な理由】

1位 黒木瞳

「包容力がありそう」「頭がよく、快活そうだから」「自分に尽くしてくれそうだから」

2位 吉永小百合

「慎ましく楽しい老後を迎えられそう」「お互いに若く穏やかに生活できそう」

3位 山口百恵

「家族や家庭を一生懸命支えてくれそう」

3位 竹下景子

「優しそうで知的だから」「いつでも耐えてくれそう」

3位 仲間由紀恵

「山内一豊の妻、そのもののイメージだから。」

1位 所ジョージ

「人生を楽しんでいるようで、その生き方に感化されそう」

「お互いそれぞれの楽しみを持ってそうだから。」「楽天家で人生を楽しんでいそう」

2位 渡哲也

「テレビで見た影響が強い」「ドラマのイメージが強いから」

3位 中村雅俊

「とことん話し合っていけそうな気がするから」「やさしさでなんでも許してくれそう」

4位 明石家さんま

「自分の希望をきいてくれそうだから」「毎日何が起きるか楽しみ。」

5位 三浦友和 5人

「家庭を大切にしていそうだから」

「シビアで現実的な妻、「賢母幻想」にすぎる夫」

～ 「将来設計」の共有が鍵 ～

富田たかし(駒沢女子大学教授・心理学者)

今回の調査結果は、まさに「夫婦の意識の違い」を浮き彫りにするものとなった。

たとえば、「夫婦は同じ墓に入るべき」という設問を夫側の約半数が支持しているにもかかわらず、妻側の支持率は 34.9%にとどまっている。「偕老同穴」(共に歳を取り、同じ墓に葬られる)といった夫婦愛の永続性を謳った理想は、もはや男たちのはかない夢となってしまった。「生まれ変わっても、今の夫と結婚したい」と答える妻が 26%に過ぎないことを考えれば、これは一貫した傾向と言えよう。

となれば、「リタイヤ後、夫婦でいる時間が増えることはうれしい」と感じる妻(27.1%)が少数派であることも必然である。夫と共に残された「将来の時間」を共有することにネガティブな妻たちの割合は 7割を超えるのだ(いいえ 32.6%、どちらでもない 40.3%)。それに対して、半数近くの夫たちは無邪気に「うれしい」と答えている。

こうした意識のギャップは、「年金分割制度」についての知識においても、「家計の収支」に対する知識に対しても妻たちの方が勝っていることと根底でつながっている。夫たちに比べ、妻たちの方が「現実」を直視し、よりシビアな感覚を備えているのだ。この事実にも、夫たちもうすうす気づいてはいるのだが(「妻は真剣に離婚を考えたことがある」と思う夫は 33.3%)、まさか、ここまで厳しい(「真剣に夫との離婚を考えたことがある」という妻は 42.2%)とは思っていない。

夫たちが理想の妻としてあげた 5 人は、いずれも現代的な「賢い妻」のイメージを共有しており、夫たちは、将来設計も含め、現実的な生きる知恵の部分で、妻たちに大いなる「期待」を抱いている。だからこそ、57.8%の夫たちが「相手はよき妻だ」と答え、前述のごとく「偕老同穴」を夢見、一方的に「来世」を誓っているのだ。あたかも「賢い母」のごとく老いて子どもに帰った自分を導いてくれる、優しい妻…。

こうしたギャップを埋めるのが夫婦のコミュニケーションであることは言うまでもなく、今回の調査結果でも、夫婦の会話が「30 分以下」であると離婚の危機が高くなるのに対して、「80 分以上」のカップルでは危機が大幅に減少する。

では、何を話したら良いのか？ 緊急の話題は「将来設計」であろう。そもそも「離婚を考えている」妻たちは、夫と将来設計について話していないのだ。しかも、ほとんどの夫婦が「リタイヤ後、資産運用の見直しが必要」と感じている(74.4%)にもかかわらず、実際に話し合っている夫婦は半数以下(43.6%)である。この事実は、これが避けて通れないテーマであるのと同時に、絶好のきっかけを提供してくれることを示している。

「愛は、たがいをみつめ合うことではなく、同じ行く手をとともに見ずえることにある」というサン テグジュペリの言葉は、70 年の時を経た今日でも色あせない。